

■実質赤字比率・連結実質赤字比率の状況

【実質赤字比率】

(単位：千円)

会計区分	会 計 名 称	実 質 収 支 額			摘 要
		平成21年度	平成20年度	増 減	
一般会計等	一般会計 A	737,422	523,457	213,965	形式収支 - 繰越財源
標準財政規模		20,057,389	19,615,434	441,955	標準税収入額、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額
実 質 赤 字 比 率		3.67%	2.66%	1.01ポイント	黒字の場合は、マイナス表示

【連結実質赤字比率】

(単位：千円)

会計区分		会 計 名 称	実 質 収 支 額（ 資 金 不 足 ・ 剰 余 金 ）			摘 要
			平成21年度	平成20年度	増 減	
一般会計等以外の特別会計のうち公営企業会計を除く		国民健康保険事業	123,297	36,824	86,473	形式収支 - 繰越財源
		国民健康保険直営診療所事業	9,148	8,682	466	
		介護保険事業	89,496	98,764	9,268	
		後期高齢者医療事業	3,861	4,166	305	
		老人保健事業	4,613	4,597	16	
		介護サービス事業	30,604	28,904	1,700	
		計 B	261,019	181,937	79,082	
公 営 企 業 会 計	法適用	水道事業会計	803,415	739,310	64,105	流動資産 - （流動負債+算入地方債残高） （資金不足の場合、解消可能資金不足額があれば控除可能の残高） 病院事業会計は、病院特例債期末残高（921,275千円）分を資金不足額より控除 算入地方債・・・建設改良費、準建設改良費以外の経費に充てるために起した市債
		病院事業会計	0	0	0	
		計 C	803,415	739,310	64,105	
	法非適用	簡易水道事業	9,697	12,297	2,600	形式収支 - 繰越財源 （赤字の場合、解消可能資金不足があれば控除可能）
		集落排水事業	12,326	8,192	4,134	
		公共下水道事業	55,060	94,112	39,052	（形式収支 - 繰越財源）+ 土地収入見込額 - 市債残高 ただし造成中の用地造成事業は算定対象外。又当該会計の決算額が黒字の場合には、 市債残高を算入した結果が赤字であっても「0」となる。
		浄化槽整備事業	8,823	10,408	1,585	
		工業用地造成事業	0	0	0	
		宅地造成事業	43,230	44,807	1,577	
		計 D	129,136	169,816	40,680	
	計（B+C+D）		1,193,570	1,091,063	102,507	
	合 計（A+B+C+D）		1,930,992	1,614,520	316,472	
	標 準 財 政 規 模		20,057,389	19,615,434	441,955	標準税収入額、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額
連 結 実 質 赤 字 比 率		9.62%	8.23%	1.39ポイント	黒字の場合は、マイナス表示	